

自治体行政機関・一般法人向け見守りシステムご提供案内

ICTを活用した 新しいつながりのカタチ

コロナ禍の今、孤立を防ぎ地域コミュニティと人とのつながりを！



LINE 友だち追加



見守りサービス登録動画

特定非営利活動法人エンリッチ

代表 紺野 功

2023年2月

地域課題

1. コロナ禍による高齢者の孤立問題
2. 孤独死の増加と長期未発見
3. 地域のつながりや関係の希薄化

これらの問題に対してご提案いたします。



独立行政法人福祉医療機構
WAM助成 社会福祉振興助成事業

令和4年度 独立行政法人福祉医療機構
令和3年度補正予算 社会福祉振興助成事業
コロナ禍における生活困窮者及びひきこもり支援に係る民間団体活動助成事業に
OSDよりそいネットワークとの協業での採択を受けました。

提案内容

2018年11月より全国で延べ11,328名(2023/2/4現在) を超える方が登録され、海外在住の日本人コミュニティでの導入など多くの実績を積んできました。

2022年10月より、それまでの利用実績と利用者の声を元に新サービスをスタートしました。

ご用意頂いたLINEのアカウントに対して、「エンリッチ見守りシステム」を提供します。



自治体・行政・一般法人は、見守りシステムのプラットフォームとして、地域に提供



1. もしもの時の早期発見と誰かとつながっていることの安心
2. 地域コミュニティの創出と活性化
3. 防災・災害情報や地域コミュニティの情報配信による孤立の解消

エンリッチが目指す姿

LINEを使った 安否通知サービス・つながりサービスによって

ICTを活用した仕組みによって孤立・孤独の方に

- ✓ もしもの際の、早期発見
- ✓ 距離を置いている親族との新たな関係を構築
- ✓ 一定の距離を保ちつつ人との新しいつながりの形を提供
- ✓ 地域コミュニティでの活用で、誰も取りこぼさない社会へ

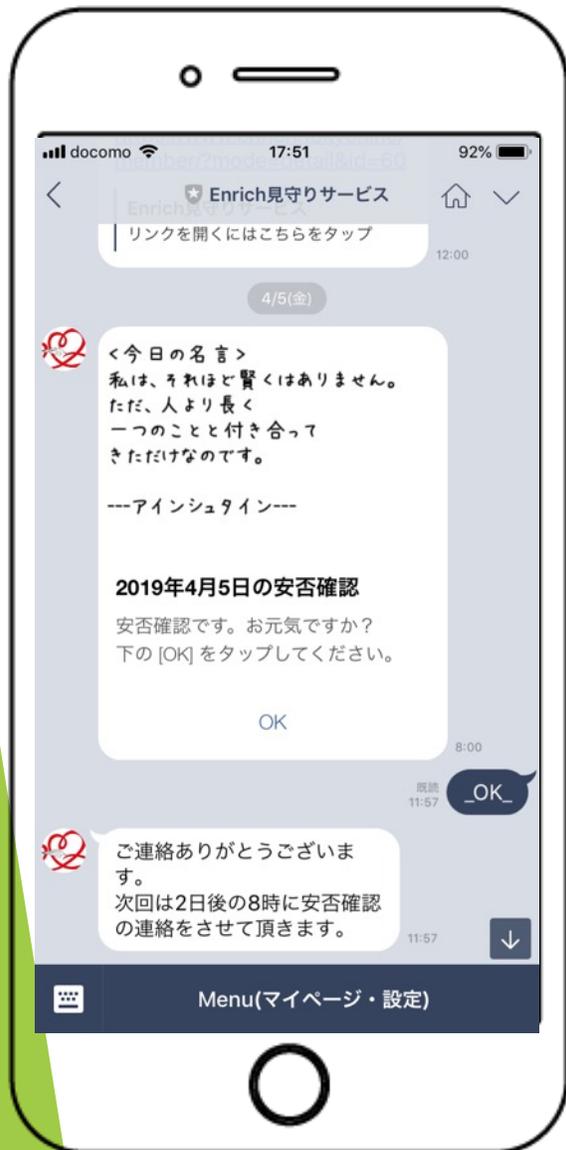


行政がサービス提供のプラットフォームとなり、
社会福祉協議会、自治会、町会などそれぞれの地域やコミュニティで自由に活用することで新しい人とのつながりの形を構築。
もしもの際に手を差し伸べて、早期発見ができる社会環境の実現を

LINEを使った安否通知サービス

あなた自身がもしもの時の通知先（管理者）を設定できる。
また、あなたが管理者となり見守りたい方を招待して、もしもの通知を受け取れる。

※直接利用者と近親者（管理者）をつなぐサービスです。



1

例えば、2日毎の任意の時間

安否確認にOK



安否確認

2

🕒 OKのタップがなければ
24時間後再通知



安否確認

3

OKのタップがなければ
3時間後

4

近親者(管理者) にLINEで通知



安否通知サービスコネクトハートとは？

あなたのもしもをLINEで知らせます。

利用者：日常的にLINEで安否確認を受け取りOKをタップする。

管理者：利用者のOKタップがない場合にLINEで通知を受ける。

例えば、利用者は単身の父で管理者は、離れて暮らす息子さん。



管理者への通知：利用者が通常配信される安否確認に反応がない場合、24時間後に再送、再送後3時間経過してもOKタップがない場合に限りLINEで通知します。

※利用者が通常配信後24時間以内にOKタップ、再送後3時間以内にOKタップされている限り通知はありません。

尚、個人利用の場合チーム内の管理者を1名追加で招待することが可能です。

<例> 父が利用者として登録し、もしもの通知を受け取る管理者を息子と娘にしたい

利用方法

- ① LINEのお友だち登録をする。
- ② チームを作成し、利用者は安否確認の配信間隔を設定、基本情報を入力する。
- ③ 招待コード（QRコード）を管理者へ送る。
- ④ 受け取った招待コードをタップ（QRコードの場合読み込み）、すればチームに登録され、利用者のもしもの通知先として紐付けされる。

※上記の登録は、管理者として登録をして利用者を招待することも可能

利用者への安否確認通知は、1,2,3,5,7,14日間隔と0から23時の時間を選択できます。

<例> 毎日6時
3日に1度17時など

お試用テストサイトです。
ご自由にお試し下さい。
登録から2週間配信します。



@811ewusg

<特徴>

個人利用では、個人情報の登録なしでもしもの際にLINEで管理者宛に通知します。

※但し、管理者が複数の利用者を対象に通知を受ける場合は任意での登録が可能です。

例：民生委員さん(管理者)が担当する見守り単身者（利用者）での利用

自治会や町会での単身者見守り、集合住宅の管理人と単身入居者など

また、管理者は利用者のマイページ情報の入力や修正が可能です。管理者権限により必要な情報を追記するところで複数の方を利用者として管理できます。

※法人及び団体向けにこのシステムをご用意頂いたLINEアカウントに提供いたします。
マイページのトップイメージの差し替えと利用規約のご用意で、
行政のブランドでのサービス提供が可能です。

例えば、

自治体などがLINEアカウントを取得しシステム導入すれば

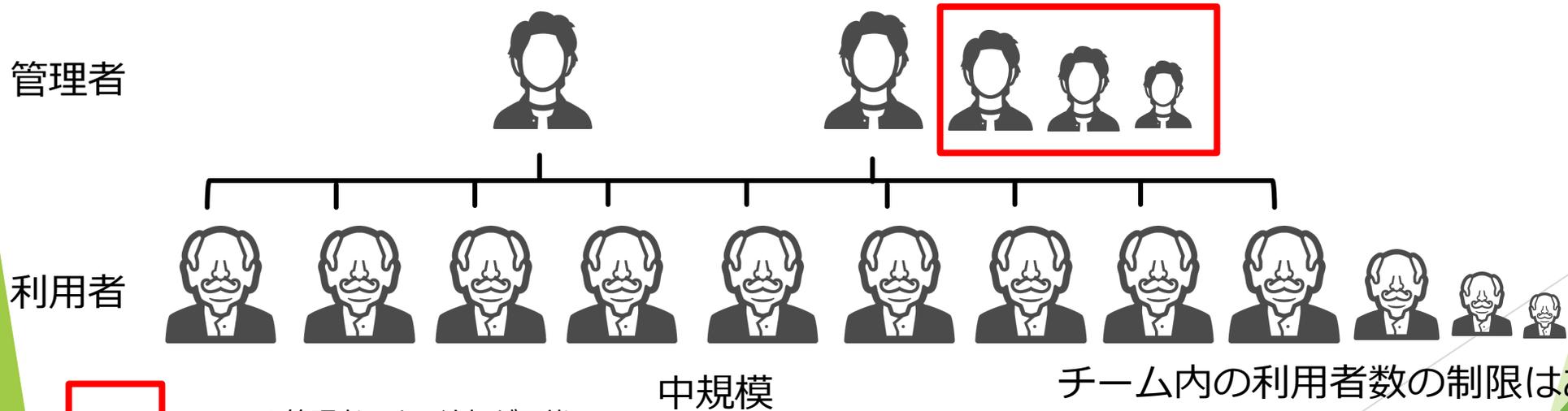
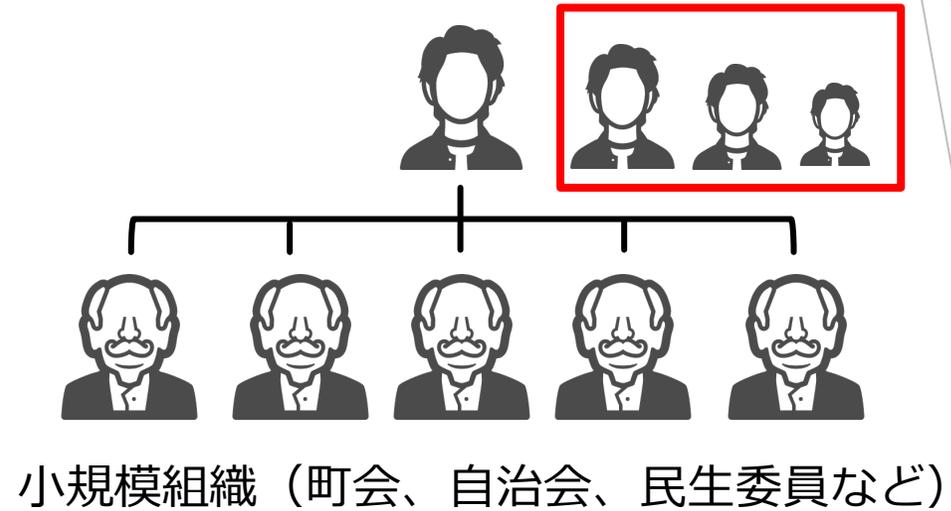
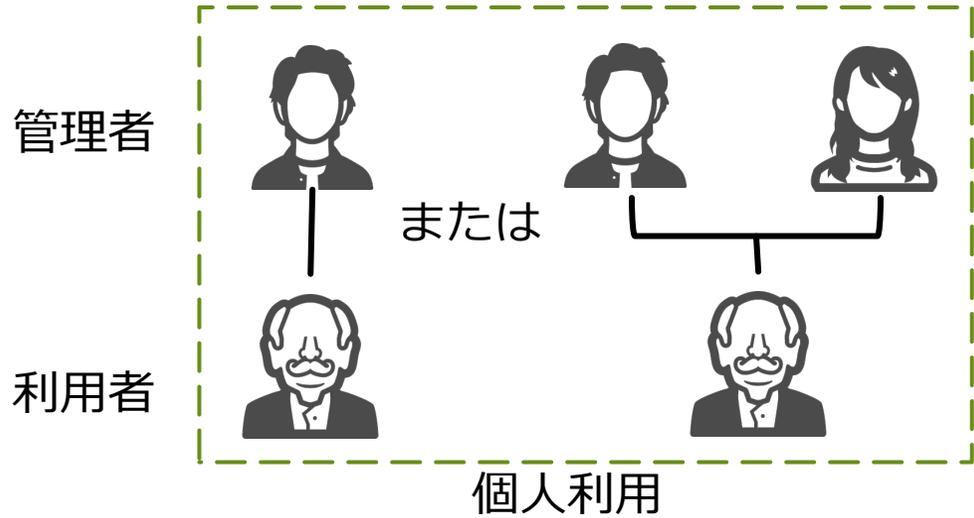
地域包括ケアセンターや町会、集合住宅の自治会などが管理者としてチームを作成しQRコードを発行。

単身の見守りが必要な地域住民にこのQRコードで登録すれば、もしもの際のアラート通知は、それぞれの管理者に届きます。

安否通知サービスでは、

1つのLINEアカウントでチームは多彩に作れます。

管理者は、利用者のもしもの通知を受け取ります。



チーム内の利用者数の制限はありません。

 システム管理者による追加が可能

安否通知サービス登録と招待の流れ



チーム情報

下記のQRコード及びURLコピーの送信によってチームに招待してあなたとの関係が紐づき成立します。

チームに利用者を追加する場合は、相手にQRコードの読み込みや画像として送信。または、以下のURLコピーボタンをタップしてテキストによる送信を行なって下さい。



QRダウンロード

このひろこから安否通知サービスへの招待です。

招待相手への送信情報をコピーする

チーム名

招待用QRコード



<https://new-avance.com>

このひろこから安否通知サービスへの招待です。

下記のURLをタップしてLINEのお友だち登録後に開いたテキスト入力内にリンクのURLが表示されていますので、実行してトーク内に入力して参加の承認をして下さい。

<https://line.me/R/joinMessage/@81ewusg/3114710>

OK

あなたの役割を選択

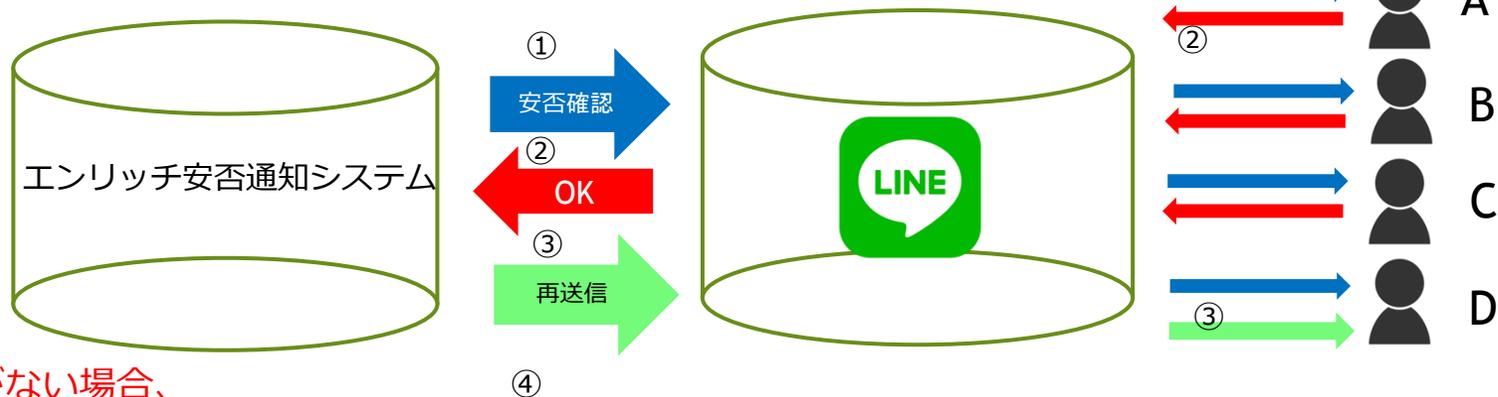
管理者：利用者の安否確認未対応(24時間後に再送し、更に3時間経過してもOKタップされない場合

QRコードはダウンロードが可能
URLのコピーは、そのまま通知先を選択してテキストで貼り付けられます。

安否確認のフロー

安否通知サービス

そちらで取得したLINEアカウントでの運用または、エンリッチシステムでの利用



DからOKがない場合、
再送後3時間経過時点で管理者宛に通知

アラート通知

市区町村行政の窓口でチームを作成

地域包括支援センターでチーム作成

集合住宅の自治会や町会でチーム作成

担当する民生委員さんがチーム作成

※登録したチーム管理者に、アラートが届きます。

※admin管理者より特定の利用者または、属性に応じて絞り込み一斉情報などの送信が可能です。

つながりサービス



LINEのプッシュ通知で安否確認!

あなたの大切な方々をグループにし、
そのグループへの安否確認送信でグループ内で
無事を確認しあえます。

ケース:3日間隔通知



つながりサービス(利用グループは?)

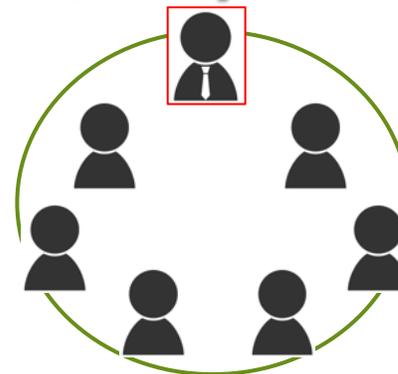


管理者(リーダー)



利用者

管理者(リーダー)が、見守る対象者とLINEでグループを作り、そのグループに「Enrich見守りサービス」を招待することで利用がスタートします。



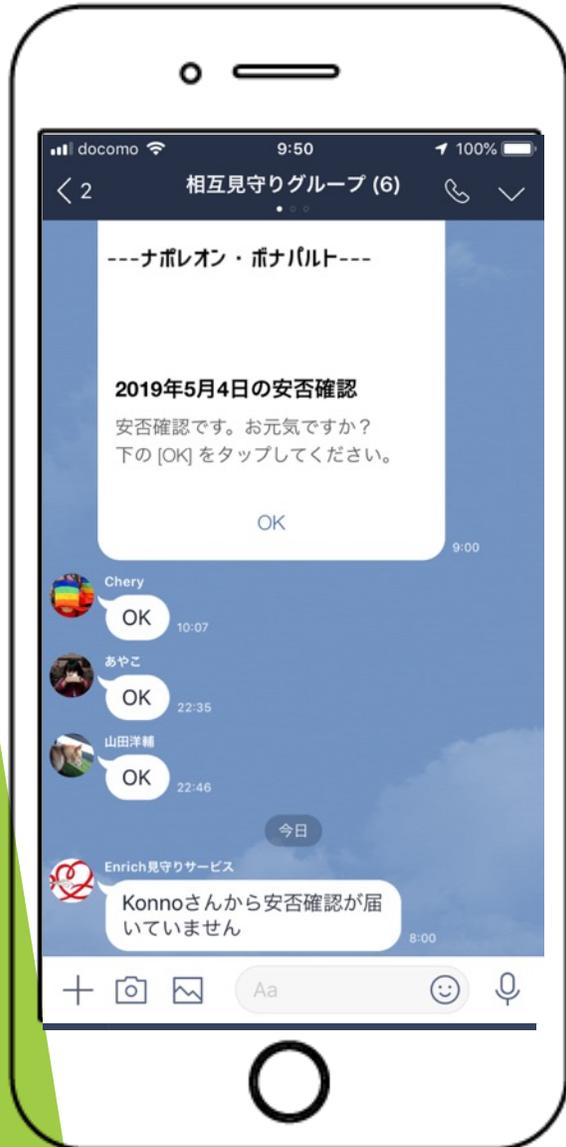
LINEグループ登録

<利用対象グループ・組織等>

- ・自治会、町内会の単身者同士
- ・単身高齢者の趣味の仲間
- ・離れた親族など

※ここで言う管理者(リーダー)とは、つながりサービスを設定する人を意味します。また、設定者は配信間隔の変更が可能です。

つながりサービスでは



グループ内で、つながることで

1.ちょっとした異変に気付き易い

最近いつもより対応が遅いけど大丈夫？

2.何気ない会話によってつながりを実感

安否確認以外にコミュニティとして顔を合わせなくとも
近況などのやり取りでつながりを維持、リアルの関係へ

3.災害や防災情報などグループ内で配信

日頃使うツールとして利用されているものに
大切なお知らせや情報を配信することで見逃しが
ない
また、地域の居場所情報配信によって孤立者を居場所へ誘導

4.もしもの際の早期発見と対応

地域で利用することで、異変に対して即行動ができる

※知らない人と一緒に嫌だという方は、
安否通知サービスへ

地域で支え合う見守りシステム

安否通知サービス

ご用意いただいたLINEアカウントで

- ✓ 社協でチーム作成
- ✓ 高齢者支援センターでチーム作成
- ✓ 地域団体、自治会、町会でチーム作成
- ✓ 個人でチーム作成

地域のニーズに合わせて多様な形で提供が可能

定期安否確認



再送信



3時間経過 アラート送信



チームの管理者

- ✓ 電話
- ✓ 駆け付け

つながりサービス

定期安否確認



23時間経過



グループ内にアラート送信



- ✓ グループ内でLINE通話
- ✓ 駆け付け

地域で地域の方を見守ります。

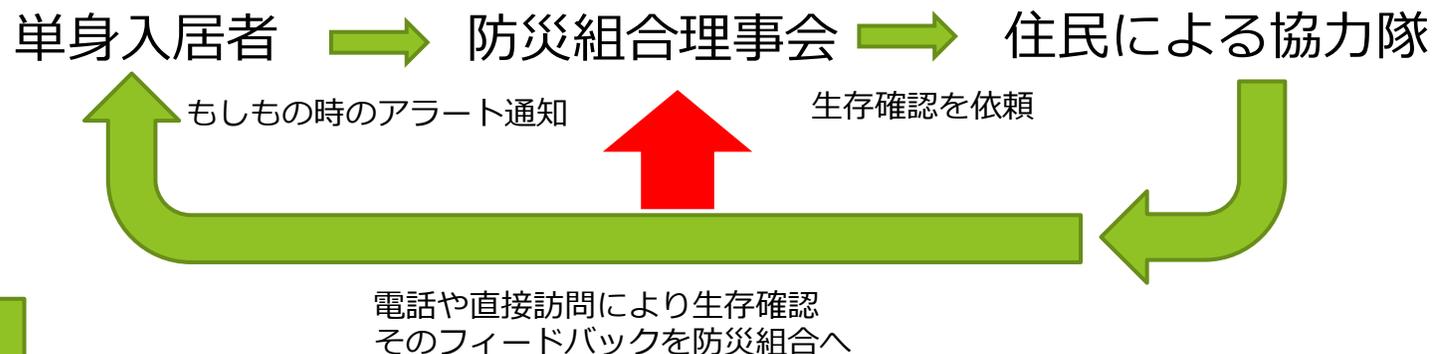
同じ地域の方とのつながりなので、もしもの際も更に安心

導入事例

地域で地域の方を見守ります。

安否通知サービス

大阪高槻市高齢化が進む集合住宅



つながりサービス

東京多摩ニュータウン高齢化が進む集合住宅 参加者同士が互いに見守る

高齢化対策委員会が情報紙で、单身入居者に参加を呼びかけてつながりサービスを利用

16名がグループLINEでつながり、安否確認を利用。

その他の効果として、地震の際にリアルタイムで互いの安否確認や避難場所などが通知されグループ参加者の安心につながった。

グループ内でちょっとした何気ない会話などにより、関係性が高まりリアルでのつながりに発展。地域コミュニティツールとしても活用されている

東京玉川学園地区社協では、両方のサービスを併用しニーズによって利用できるよう案内しています。

サービスの種類と機能

	安否通知サービス	つながりサービス
対象人数	1名～数百名以上	グループ(2名～最大500名)
安否確認通知間隔	1日から3日及び5, 30日。毎週1回、	隔週1回の任意の時間帯
安否確認者	※チーム作成時に設定の管理者	グループ参加者同士
安否未確認の場合	安否確認がタップされない場合は、24時間後に再送。 更に3時間経過しても確認できない場合チームの管理者へ通知	23時間後に未確認者を通知。グループ参加者内で対応
個人情報の登録	チームの構成によって任意に設定可能。個人間では不要	グループ間で見守りのため不要
サービス提供方法	LINEのアカウントにシステム提供	

令和4年度 独立行政法人福祉医療機構

令和3年度補正予算 社会福祉振興助成事業

コロナ禍における生活困窮者及びひきこもり支援に係る民間団体活動助成事業

対象と登録の違い

安否通知サービス

チームという概念で構成

チームとは、

- 1.個人間（離れた親族、障害や特定の不安を持つ個人を個人で）
- 2.複数の方の安否を管理するために（民生委員や自治会、町会役員などが対象住人に）

登録時にチームを作り、そこに利用者を招待する形で、もしもの通知を受け取る方と利用者を紐付ける

個人情報については、利用されるチームに依存。例えば、民生員さんであれば名前だけは必要とか、事前に決め事として番号にするなど、活用についてはチームに依存します。

より柔軟に現場のニーズに対応可能

つながりサービス

グループという単位で構成

グループは、

- 1.離れて暮らす単身家族
- 2.集合住宅の単身者同士
- 3.町会、地域のサークル仲間や支え合い関係者同士など

LINEのグループ機能でグループに見守りサービスを招待することで利用可能に

安否確認への対応はリアルタイムでグループ内で共有されますので、「最近対応が遅くなった」「忘れることが増えた」など異変やフレイルや認知症などの早期発見などに有効です。

活用の違いと特徴

安否通知サービス

誰かを見守るためのツール

- 1.個人利用
 - 2.自治会、地域包括、単身高齢者同士など
- 各レベルにおいて1対1や1対多数の関係でダイレクトにもしもの通知を送る

この仕組みで、それぞれのニーズに合わせた運用を提供します。

例えば、ケアマネージャーや地域のコーディネータなどが、単身生活の健康不安や孤立している方の管理者となり、もしもの通知を受けることで早急な対応が可能となります。

つながりサービス

コミュニティツールに安否確認機能がある

誰かと繋がっている安心感と安否確認以外にコミュニティとしての活用。

日常的な何気ないやり取りや地域の居場所情報によりリアルのつながりに誘導したり、防災・災害時のグループ内での共助を含め互いに支え合う関係構築での利用。

※知らない人と一緒に望まないという方は安否通知サービスへ

いずれのサービスもadmin管理者によって、市区町村からの情報の一斉通知や特定の方やグループへの個別メッセージの配信など可能

チーム管理者設定

利用者の地域やエリアなどでチーム管理者を設定します。

地域を分けて、チームを作りシステム管理者を設定



社協や地域包括支援センター、地域活動・民間団体などの単位

町会単位での利用。

集合住宅、管理組合や自治会での利用



※チーム管理者は、利用者に専用のQRコード、招待コードを発行し、そのコードからの登録者のアラート通知を受信します。

導入に向けて

- ✓ 市区町村担当部署職員及び社会福祉協議会・地域包括センター職員などへの説明会の開催
- ✓ 関係者への操作研修会
- ✓ 集合住宅自治会や町会、民生委員への説明会とヒアリングを実施します。

デジタルデバイドの解消に向けた取り組みも行っています。

- ✓ 民生委員や高齢者へのスマホ教室
- ✓ 更にスマホ教室の実施には地域のボランティアや学生サポートを広く集め、サポートを依頼。世代を超えたつながりを作りと、地域コミュニティとして継続を自走できる体制構築。

NPO法人エンリッチの活動と実績及びメディア取材などは、こちらをご覧ください。

https://www.enrich.tokyo/service_government.html

運営組織

法人名：特定非営利活動法人エンリッチ

場所：〒133-0051

東京都江戸川区北小岩2-18-16

電話番号：050-3702-5355

一般及び企業からの支援を受け付けております。

振込先：楽天銀行 第二営業支店（252）

普通預金：7776972

協力団体：OSDよりそいネットワーク

一般社団法人LMN

一般社団法人地域コミュニティ振興協会

一般社団法人高齢者問題支援協会



独立行政法人福祉医療機構

令和3年度補正予算 社会福祉振興助成事業

主催:OSDよりそいネットワーク

共催:特定非営利活動法人エンリッチ



エンリッチホームページ



見守りサービス登録動画

代表理事：紺野 功

理事：山田 洋輔

理事：中路 良恵

監事：成清 一夫

設立：2018年9月3日

<https://www.enrich.tokyo>

info@enrich.tokyo